

2025
学校案内

伝統校です！

群馬県立館林高等学校

いいじゃん！
男子校！

きっと見つかる
一生の仲間

男だけの青春！

行事でもっと盛り上がる!!

自分らしくいられる



授業で盛り上がる！

勉強も！

部活も！

Gunma Tatebayashi High School



教育活動

校 章



館林高等学校の校章は、北極星をモチーフにしています。館林はかつて「立林」と表記された時代があったことから、「立」という字と垂直に伸びる線で構成されました。北極星は、常に天の極北にあり、太古から方角を教えてくれる重要な存在でした。このことから、北極星のように人々に指針を与える、社会に貢献できるリーダーになってほしい、という意味が込められています。

目指す生徒像

- ① 確かな学力と幅広い知識・教養を身につけた生徒
 - ② 人柄に優れ、知・徳・体の調和のとれた生徒
 - ③ 自主・自律の精神を持ち、社会に貢献できる生徒

校長挨拶

本校は大正10年に創立された伝統ある男子高校です。令和3年には創立100周年を迎え、地域の中核校として、二万有余名に及ぶ卒業生は、全国各地で活躍しています。

本校が立地している館林は、北には渡良瀬川、南には利根川と、南北に大きな河川が流れ、城沼、多々良沼など多くの池沼が点在し、豊かな水資源と自然環境に恵まれた場所です。また、徳川第5代將軍綱吉を輩出した歴史と伝統のある町でもあります。

この、歴史とロマンの町、館林で硬派の高校生活を送ってみませんか。生徒たちは気概にあふれ、校歌や応援歌を

大きな声で歌うその姿は見る者に感動を与えてくれます。部活動も活発であり、特にレスリング部・ボート部は全国大会の常連です。互いを高め合える友人達とともに切磋琢磨しましょう。自らを向上させる意欲に満ち、文武両立をめざして努力する、硬派の「男の子(おのこ)」を求めていきます。

ここで、君自身の「高校時代にしかできない、館林高校でしかできないもの」を追加してみませんか。館林高校は皆さんの入学を心よりお待ちしています。

群馬県立館林高等学校 校長 委文 義之

教育課程の特色

- 50分授業、3学期制、6時間(月・水・金) or 7時間(火・木) 授業
 - 英語・数学は少人数クラス(基礎・発展)に分けたきめ細かい授業も展開

3年	受験対策 志望校決定	文型(国公立) (文系中心+理系科目)	文型(私立) (文系中心)	理型(国公立) (理系中心+文系科目)	理型(私立) (理系科目)
2年	入試の研究 大学の研究	文型 (文系の科目中心)		理型 (理系の科目中心)	
1年	基礎学力の定着 家庭学習習慣の確立		全員共通		

※朝・放課後・土曜・長期休業中の課外授業（希望制）では、基礎の徹底習得から入試対策まで幅広いレベルに対応。

校時表

S H R	8 : 35 ~ 8 : 45
1校時	8 : 50 ~ 9 : 40
2校時	9 : 50 ~ 10 : 40
3校時	10 : 50 ~ 11 : 40
4校時	11 : 50 ~ 12 : 40
昼休み	12 : 40 ~ 13 : 25
5校時	13 : 25 ~ 14 : 15
6校時	14 : 25 ~ 15 : 15
7校時	15 : 25 ~ 16 : 15 (火・木のみ)

※月・水・金は6校時後に清掃

令和7年度 入学生教育課程表



学校行事

生徒会長メッセージ



私が館林高校を選んだ理由は、家から自転車で通える距離であること、水泳の先輩方が館林高校に多数在籍していることの2つです。本校に水泳部自体はないのですが、館林高校というチームとして先輩方と関東大会に出場することが目標です。

館林高校の魅力は、素晴らしい雰囲気で学習を行うことができ、様々な行事があることだと感じています。ノリが

良くわかりやすい授業をしてくれる先生方、面白く頼りがいのある同級生の存在、体育祭・強歩大会をはじめとした学校行事のおかげで充実した高校生活を送ることができます。

「THE・男子校」。これが館林高校の最大の魅力です。男オンリーのこの館林高校で切磋琢磨しながら、高校生活を最高の思い出にしましょう!私達はみなさんの高校生活を楽しみにしています!

学校行事

4月

- 入学式
- 対面式
- 強歩大会
- 高校総体壮行会



入学式



対面式

5月

- 大成会役員選挙



高校総体壮行会



強歩大会

6月

- 生徒総会



大成会役員選挙



生徒総会

7月

- 大成祭※
(文化祭、次回はR7年度)



大成祭



第35回大成祭

8月

- 集中学習会



集中学習会



修学旅行

10月

- 修学旅行 (R6年度は沖縄方面を予定)
- 大学見学 (1学年)



大学見学



体育祭



球技大会

11月

- 球技大会※
(R6年度実施予定)
- 体育祭※
(次回はR8年度)



卒業式

3月

- 卒業式

*印はローテーションで1年ごとに開催

2年 清水 陸央 (邑楽中出身)

良くわかりやすい授業をしてくれる先生方、面白く頼りがいのある同級生の存在、体育祭・強歩大会をはじめとした学校行事のおかげで充実した高校生活を送ることができています。

「THE・男子校」。これが館林高校の最大の魅力です。男オンリーのこの館林高校で切磋琢磨しながら、高校生活を最高の思い出にしましょう!私達はみなさんの高校生活を楽しみにしています!

強歩大会の感想

1年 増田 潤 (邑楽中出身)

強歩大会は、約24kmの距離を歩く、館林高校の伝統行事です。私は初めての強歩大会だったので、陸上部に所属しているので、スタートからできるだけ歩かずに走り切ろうという気持ちで臨みました。仲間と同じ目標を成し遂げることで、他の行事では味わうことのできない達成感を得ることができ、仲間意識も高まる行事です。

修学旅行の感想

3年 針ヶ谷真大 (板倉中出身)

沖縄独特の建物や豊かな植物、透き通った海は、まるで外国に来たかと思わせるほど素敵なものでした。その中で訪れた観光地の数々。私は、この沖縄旅行を通してとても大きな学びを得ました。私はもともと戦争というものにあまり関心がなく、深く考えたことなどありませんでした。しかし、ひめゆりの塔にて当時10代であった女学生たちが、食糧不足、過重労働、米軍の攻撃、または自決などによって簡単に命を奪われる状況にあったと知り、平和記念館ではどれだけの死者が出たのかを思い知りました。戦争とはいかに愚かで悲惨なものであるかを再確認しました。また、沖縄中にある米軍基地は沖縄県民にとってはあまり好ましくないものであることを学びました。

その一方で、マリンスポーツやタクシー研修にて、海や植物といった自然にも触れ、リラックスするとともに自然との共生の大切さも学びました。私達が生活している場所とは全く違った歴史を歩んできた沖縄。とても有意義な時間を過ごせました。

体育祭の感想

3年 山口 煌牙 (館林三中出身)

館林高校の体育祭は、男子校ならではの「はげしさ」「熱さ」「楽しさ」を感じられる行事です。先輩、後輩関係なく勝ちに執着し一生懸命闘い、ともに笑い、ともに喜び、ともに悔しがり、充実した時間を過ごしたことは高校生活の思い出の一つとなりました。

競技の中で一番盛り上がったのは綱引きです。遠慮することのない、魂と魂のぶつかりあいはまさに男子校の綱引き!決勝戦では、戦っているクラス以外の生徒も大声で応援し、学校全体が一丸となって盛り上がりいました。

「女子がいたらなあ」と思うこともあります、行事でこのように盛り上がるのも男子校の魅力の一つだと感じました。



館高生の一日

AM8:20



登校



電車で通学する生徒は全体の約3割。
自転車で館林駅から10分、成島駅から
10分、太田・佐野からの通学も便利です！

AM8:50～



午前の授業



プロジェクタ、スクリーンを
完備した教室で、効率的な
ICT授業を展開。1人1台
端末を活用して、思考力・
判断力を鍛えます！

PM0:40



お昼休み



学食の閉鎖に伴い、2
つのお弁当屋さんがお
弁当販売を行っています。
ワンコインのカレーは大人気！水曜限定の
パン販売は、放課後
部活動のある運動部
に人気です！



Good :

PM1:25



午後の授業



総合的な探究の時間では、株式会社 ENAGEED の教材を導入し、「自分で考えて動く力」を身につけ、課題研究に取り組んでいます。また令和5年度から、館林女子高校と合同の地域探究プロジェクトに取り組んでいます。



PM3:15



放課後



館林高校の図書館は、小説や新書はもちろん、進路に役立つ本や高校生に人気の
ライトノベルや映画の雑誌なども充実！
中学校の図書室にはなかった名作漫画にも出会えるかも？

館林高校には、大小2つの体育館に加え、武道館や
トレーニングルーム、テニスコートがあり、さまざま
な運動部が活躍中です。文化部の種類も豊富な
ので、自分が熱中できることを見つけるはず!!
部活に入らずに、生徒会本部役員の活動に力を入れ
る生徒もいます。



部活動

運動部

- レスリング
- 卓球
- ボート
- サッカー
- バレー・ボール
- バドミントン
- 硬式野球
- バスケットボール
- 陸上競技
- 軟式野球
- 剣道
- テニス
- 山岳
- 空手道
- ソフトテニス

文化部

- 囲碁将棋
- 文化芸術
- 吹奏楽
- (新聞・美術・文芸)
- 演劇
- JRC
- 科学
- 情報処理



令和5年度 各部の主な結果

レスリング	インターハイ団体ベスト8
サッカー	県高校新人戦ベスト16
硬式野球	秋季群馬県予選ベスト16
軟式野球	春季群馬県予選第3位
山岳	県高校総体 11位
卓球	県高校総体 団体戦ベスト16
バレー・ボール	県新人大会ベスト16

バスケットボール	インターハイ予選県ベスト8
剣道	県新人大会団体ベスト8
ボート	インターハイ準々決勝進出
バドミントン	県高校総体 ベスト8
陸上競技	関東高校大会出場(やり投げ)
テニス	県高校総体団体ベスト16



サッカー部

2年 加藤 圭悟(館林三中出身)

サッカー部では、平日は毎日放課後に練習を行い、毎週末には練習試合やリーグ、トーナメントの試合があります。休みの日は主に週に1回です。定期考査1週間前からは部活動は休みになるので、私はこの期間を大切にし、課題や復習をする期間に当てています。それに加え、普段の授業をよく聞いて理解し、わからない所は先生に尋ねるようにしています。部活動はとても大変ですが、館林高校では部活動と勉強との両立ができる環境が整っていると感じています。これは私が館林高校を選んだ理由の一つです。

最後に中学生の皆さん、高校受験は自分の人生を左右します。ぜひ頑張ってください。



山岳部

2年 黒 想太(明和中出身)

私は、健康のために運動ができ、自然と触れ合うことができるという理由で山岳部に入部しました。館高山岳部は平日毎日活動していて、週に2、3回は歩荷やランニングなどの体力トレーニング、その他には天気図の作成や、登山の知識に関する座学といった活動を行っています。山行は2ヶ月に一回程の頻度で、長期休暇には登山合宿があります。

山岳部の活動は遅くとも17時30分までで、テスト一週間前には部活が休みになるので家に帰ってからでも十分に勉強することができ、勉強と部活動の両立も心配ありません。私は、部活が休みの日は自習室で課題を進めています。

山岳部に興味があればぜひ部活動見学などの機会に話を聞いてみてください。



進路実績

令和5年度進学状況（卒業生 190名）

国公立大学 25名

私立大学 350名

合格！

京都大学総合人間学部

現役合格 1名!!

過去5年間の主な進学先

国公立大学

京都、山形、茨城、筑波、宇都宮、群馬、埼玉、東京学芸、新潟、金沢、信州、青森公立、秋田県立、前橋工科、群馬健康科学、高崎経済、都留文科、長野、石川県立、山梨県立、福知山公立、名桜など

私立大学

早稲田、慶應、上智、東京理科、学習院、明治、青山学院、立教、中央、法政、日本、東洋、駒澤、専修、東京都市、芝浦工、東京電機、工学院、北里、大東文化、東海、亜細亜、帝京、国士館、成城、明治学院、神奈川、獨協、國學院、武藏、関西、同志社、立命館、近畿、群馬パース、高崎健康福祉など

※○○のように色のついている大学は、令和5年度に指定校推薦の募集があった大学です。

卒業生からのメッセージ *



文型 京都大学総合人間学部 渡 太一（R5年度卒 館林四中出身）

中学生の皆さん今は、館林高校についてどのような印象を持たれているでしょうか。私は、様々な人が集まる館林高校という場所は、自分で充実した高校生活を作り出せる場所だと思います。

私は高校生活では主に、勉強と生徒会活動に励んでいました。高校での勉強は中学校までの勉強よりもさらに充実したものになっています。高校の勉強が、新たな学問の世界を皆さんに見せてくれるかもしれません。好きな教科が一つでもあれば、得意を伸ばして愉快に学習することができると思います。生徒会活動では1年間生徒会長を務め、主に行事の運営や学校外行事への参加といった活動を行っていました。生徒会の活動には裏方的な仕事もあり、様々な形で学校運営に携わることができます。

そして、館林高校生の多くは大学へと進学します。大学進学を考えて館林高校に入ろうと思っている方もいるでしょう。大学入試のための準備は大変忙しいですが、授業や課題を利用しつつ、先生方とともに進めてゆけば、希望の進路を実現できます。私も1年生の時は今の大学に進学することは夢にも思っていませんでした。今、大学進学へのビジョンが無くて心配する必要はありません。高校で色々と模索してみれば、すすみたい大学がみえてくるでしょう。

館林高校の良いところは、私のように勉強と生徒会に励む人、部活動に青春を捧げる人、友人とのんびり過ごす人、趣味に没頭する人など、多様な人が集まっていることもあります。高校男児の活力がありつつ、和やかな雰囲気が学校を包んでいます。皆さんが高校受験を乗り越え、館林高校で充実した高校生活を送られることを願っています。



理型 筑波大学理工学群物理学類 河内 洋樹（R5年度卒 大泉北中出身）

館林高校を3年間過ごして感じたことは、進学校ならではの強みです。私が感じた館林高校の進学校ならではの強みとは大きくわけて2つあり、まず1つ目に共通テスト対策（共通テスト：大学受験の試験）の授業の実施です。3年の後半あたりで実施されるこの授業は、科目によって多少の差異があるかもしれません、主に教材を通して共通テストの傾向と対策をつかむことが重視されています。今はまだ実感がわからないかもしれません、入試の対策を学校の授業で行えるというのはとてもありがたいものです。2つ目は、授業のクラス分けです。これは1年生の時からあり、2～3段階のレベル別に合わせて授業を行う制度です。この他にも、体育祭や文化祭、球技大会などの学校行事があるので充実した学校生活を送れると思います。

私は3年間を勉強に重きを置いて過ごしていました。塾や部活といったものに所属していないかったので、放課後は主に受験勉強のみをする生活を送っていました。正確には覚えていませんが、2年の後半から受験を意識して勉強してきました。私は、パソコンを使ってYouTubeに上がっている動画を活用して受験対策をしていました。参考書も使っていましたが、動画を見ながらノートをとっていくやり方のほうが自分にとってやりやすかったので、その方法で受験勉強を進めました。自分にとって続けやすいやり方で勉強することが進路実現において重要なことだと思います。

最後に、私は高校に入って数学や物理学に出会って大きく人生が変わりました。中学生の皆さんも、自分がまだ知らないこと出会いの楽しさをぜひ高校で味わってください。

アクセス

群馬県立館林高等学校

〒 374-0041 群馬県館林市富士原町 1241

TEL 0276-72-4307

FAX 0276-72-7110

- 館林駅から2km
- 成島駅から1.5km

- 太田駅から館林駅 約30分
- 西小泉駅から館林駅 約20分
- 佐野駅から館林駅 約20分

- 徒歩 20 分
- 徒歩 18 分

- 約 30 分
- 約 20 分
- 約 20 分

